

2018年6月30日

第16期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急ベーカリー

貸借対照表

(2018年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	2,139,192	(負債の部)	1,913,705
流動資産	758,352	流動負債	1,599,610
現金及び預金	111,512	買掛金	171,183
売掛金	431,131	短期借入金	1,110,818
製品・商品	752	未払金	140,840
仕掛品	91,617	未払費用	100,779
原材料	23,025	未払事業所税	3,466
貯蔵品	55	未払法人税等	537
前払費用	23,373	未払消費税等	26,229
繰延税金資産	47,110	預り金	6,471
未収法人税等	14,784	賞与引当金	39,282
その他流動資産	14,988		
固定資産	1,380,840	固定負債	314,095
有形固定資産	1,320,479	退職給付引当金	42,137
建物	151,369	役員退職慰労引当金	18,514
建物附属設備	365,964	長期未払金	253,443
機械及び装置	514,148		
器具及び備品	58,727	(純資産の部)	225,487
リース資産	230,270	株主資本	225,487
		資本金	10,000
無形固定資産	3,601	資本剰余金	2,500
ソフトウェア	3,583	資本準備金	2,500
施設利用権	17	利益剰余金	212,987
		その他利益剰余金	212,987
投資その他の資産	56,760	繰越利益剰余金	212,987
差入保証金	34,983		
長期繰延税金資産	21,776		
合 計	2,139,192	合 計	2,139,192

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商 品	最終仕入原価法
原材料	最終仕入原価法
仕掛品	総平均法
貯蔵品	個別法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産
(リース資産を除く)

定額法

無形固定資産

定額法

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用して
おります。

4. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対する賞与支給に備えるため、当期の負担に掛かる
支給見込額を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基
づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しており
ます。

役員退職慰労引当金

役員及び執行役員の退職慰労金に充てるため、内規に基づ
く期末要支給額を計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっ
て
おります。
ただし、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として
処理しております。

当期純損益金額

当期純利益 89,349千円